

中期経営計画 (2021~2023年度)

2021年5月28日

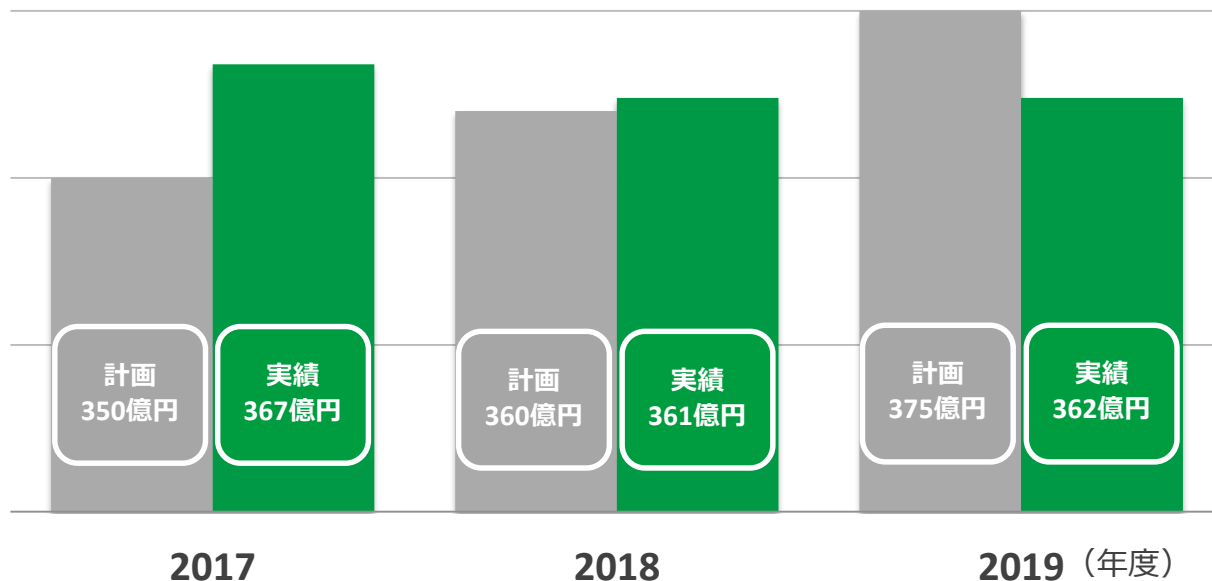
前中期経営計画の振り返り

売上・利益は2年目までは計画達成も、3年目は未達。
積極投資推進により減価償却費が増加、利益を圧迫。

営業利益

計画 25億円	計画 28億円	計画 29億円
実績 40億円	実績 30億円	実績 24億円

売上



前中期経営計画期間中の主な施策

「持続的安定収益の実現」に向けた足固めを実行

- ✓ 重点分野への集中投資
- ✓ 海外戦略の積極的展開
- ✓ 経営基盤の強化

MLCC材料、有機電子材料等の成長投資を推進
ロックゲート㈱を買収、量子コンピュータ市場向け売上増加

半導体市場や次世代ディスプレイ市場向け海外展開を促進
アジア新興国市場の開拓・売上増加

戦略的拡販、各種原価低減策を実行
西淀川工場跡地の再開発完遂

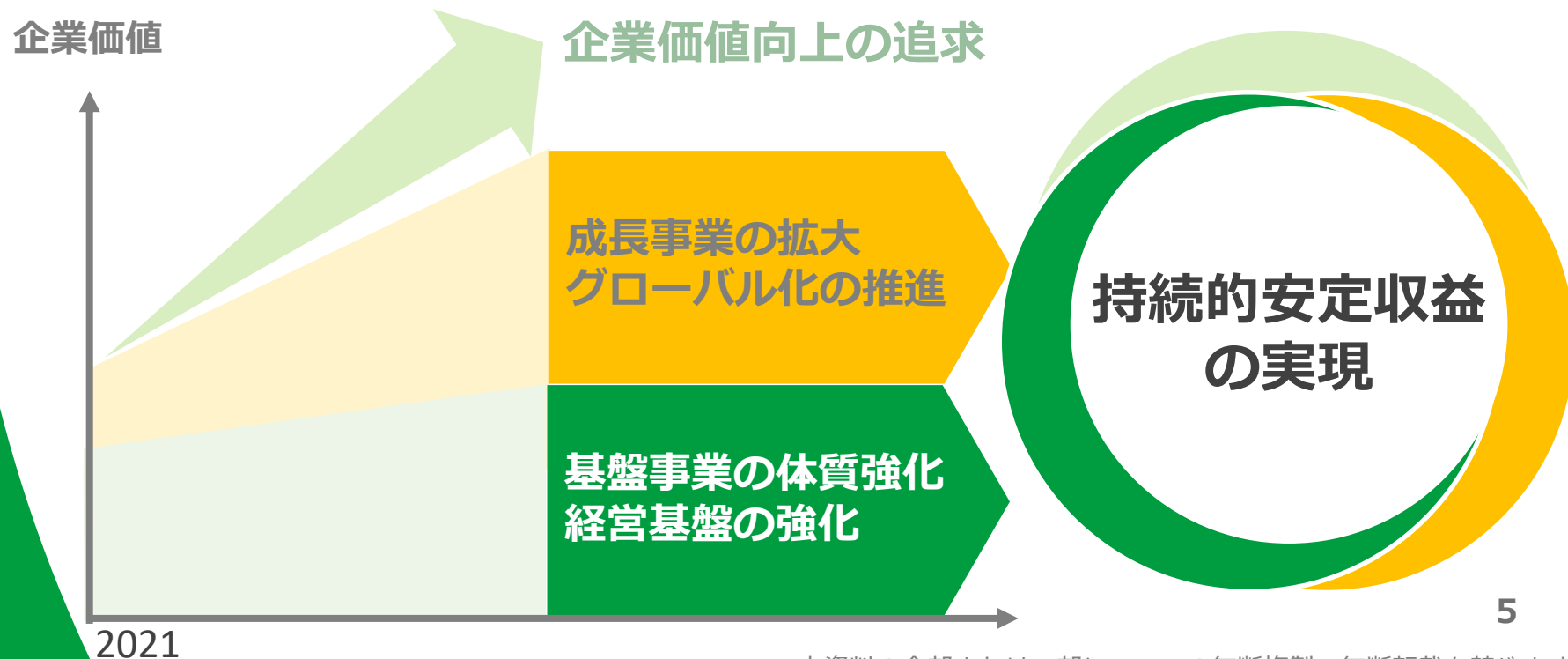
成果の実現への
足固め

新中期経営計画 (2021～2023年度) 「成長戦略の推進と成果の実現」

新中期経営計画の基本方針

成長戦略の推進 と 成果の実現

前中計の「足固め」の集大成として成果の実現に向け邁進。
経営基盤の強化・最適化には引き続き取り組み、
成長戦略・グローバル化戦略推進で新たな収益基盤を構築を目指す。



新中期経営計画の数値目標

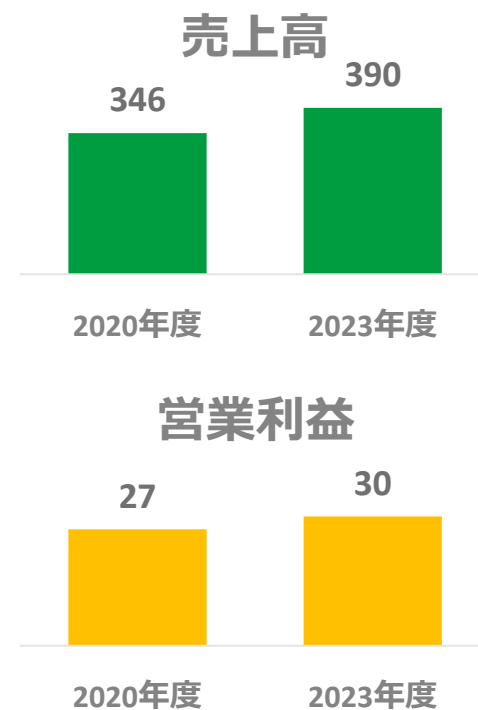
2023年度目標

売上高
390 億円

営業利益
30 億円

成長分野を中心に売上拡大も、積極投資により減価償却費・販管費が増加

数値目標	(億円)	
	2020年度	2023年度
化学品	142	+8%
機能品	151	+20%
空調関連	33	+12%
賃貸 他	18	安定



基盤事業の体質強化

＜基盤事業製品・用途の一例＞

クロム製品

国内唯一の
クロム化合物メーカー

硬質クロムめっき
硬度と耐摩耗性に
優れる

用途：シリンダ
ピストンリング



耐火レンガ
1790℃以上の耐火
度を有する

用途：冶金用炉

電磁鋼板用めっき
EV用駆動モーター

シリカ製品

日本で初めての生産
(珪酸ソーダ)

古紙の脱インク

古紙からパルプを再生する際の汚れ
の除去と漂白時の過酸化水素の安定
化に使用される。



土壌硬化材

建設工事において空洞、空隙、隙間
などを埋めるために注入する流動性
の液体で、軟弱地盤の硬化に用いら
れる

りん製品

国内最大級の
製品ラインアップ



食品添加物
麺の風味付添加剤
pH調整剤
乳化剤



洗剤



光学用ガラス材料
化学的安定性を付与
可視光透過率の向上

付加価値製品のラインアップ充実化と、生産効率化により
採算性向上・収益拡大を図る

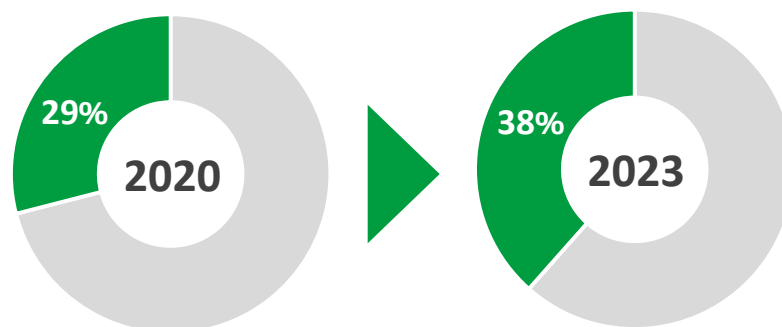
成長分野の拡大

デジタル化・省エネ化が売上拡大に貢献

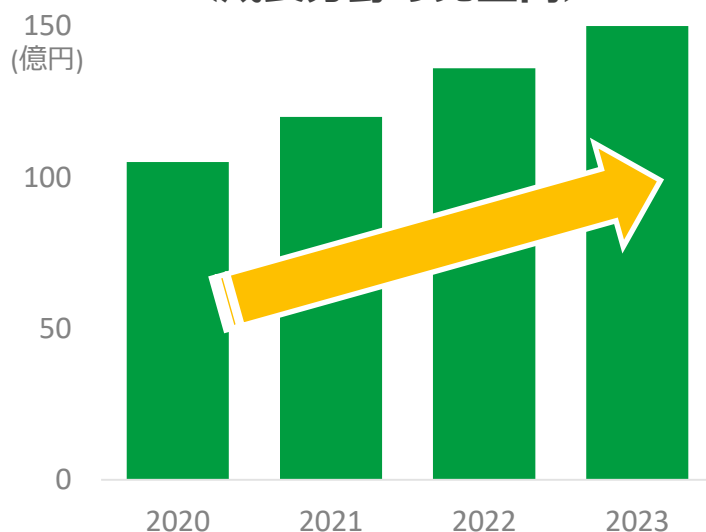
成長加速

- ◆ 電子セラミック材料
- ◆ 液晶/半導体用りん酸
- ◆ 高純度赤燐
- ◆ 高純度ホスフィンガス
- ◆ 量子ドット用りん原料
- ◆ 有機電子材料

＜売上全体に占める成長分野の割合＞



＜成長分野の売上高＞



電子セラミック材料

高付加価値のMLCCは中長期で構造的に需要増

成長要因

- ◆自動車の電装化
(自動運転・ハイブリッドやEV車の増大)
- ◆Society5.0の実現に向けたインフラ投資
(5G基地局・センサー・IoTモジュール)
- ◆スマートフォンの5G化

製品用途

- ・チタン酸バリウム：MLCCの誘電体材料
- ・高純度炭酸バリウム：チタン酸バリウムの原料

当社の強み

- ◆豊富な無機薬品の合成技術
→顧客が求める機能への合わせこみが可能
- ◆多彩な製法
→しゅう酸塩法・固相法・アルコキシド法
- ◆高品質な製品の提供
→安定した組成(Ba/Ti比)・均一な粒度・高純度

事業戦略

- ◆製品供給力の強化（増産への設備投資）
- ◆BCPへの対応（生産工場の複数化）
- ◆顧客要求を満たす新製品開発

チタン酸バリウムの新生産棟竣工

- ・既存生産工場である福島第一工場に加え、徳山工場内に新生産棟を建設、21年4月末に竣工
- ・2021年上期中の稼働開始予定
- ・今後、市場の拡大に合わせて順次増産を計画していく



チタン酸バリウム
徳山 新生産棟

半導体用りん酸・高純度ホスフィンガス・高純度赤燐

5G化の更なる進展が需要拡大に貢献

成長要因

- ◆半導体市場の継続的な成長
- ◆インターネット通信の高速化・大容量化
→光通信向け受発光素子材料の需要増大

製品用途

- ・りん酸：エッチング材料
- ・高純度赤燐：N型ドーパント材料、
化合物半導体材料（InP系）
- ・高純度ホスフィンガス：N型ドーパント材料

当社の強み

- ◆製品供給力
→高純度赤燐の増産完了
- ◆高品質な製品の提供
→ホスフィンガスから高純度赤燐を製造

事業戦略

- ◆顧客要求を満たす新グレード開発

高純度赤燐の新生産棟竣工

- ・デジタル化の加速や光通信向けの需要拡大を背景に
市場成長が見込まれる
- ・福島第二工場内に、新生産棟を建設、
21年4月に竣工 & 稼働開始
- ・生産能力2倍、安定供給体制を強化



高純度赤燐 新生産棟

量子ドット（QD）用リン原料

世界市場の成長に合わせ需要も拡大トレンド

成長要因

- ◆量子ドットディスプレイの需要増大
- ◆韓国大手ディスプレイメーカーがインジウム系インクをベースとした次世代型ディスプレイに対し大規模な投資を推進中
→2022年からの市場投入開始に向け、順調に投資が進む



当社の強み

- ◆豊富な技術・ノウハウ
→25年以上に渡るホスフィン誘導体の開発・製造実績による多彩な化合物の提供
- ◆多彩な製法
→現在主流のCd/Se系のみならず、次世代のInP系原料にも対応
- ◆競争優位性
→市場の立ち上がり段階から主要ユーザーと関係構築。市場への材料提供・新製品投入

量子ドット（QD：Quantum Dot）とは・・・
直径が10nm以下の半導体粒子。
主にカドミウムセレン系やインジウムリン系がある

QDテレビとは・・・
量子ドット(QD)を搭載した次世代型テレビで、
中国・韓国を中心に広がりを見せている

注意事項

本資料に記載されている業績予想や事業計画は、当社が現在入手可能な情報および一定の前提条件に基づいて作成したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績等は異なる可能性があります。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願い致します。